

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2010-175485(P2010-175485A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-21043(P2009-21043)

【国際特許分類】

G 0 1 V 8/14 (2006.01)

H 0 1 H 35/00 (2006.01)

G 0 1 V 8/20 (2006.01)

H 0 3 K 17/78 (2006.01)

【F I】

G 0 1 V 9/04 B

H 0 1 H 35/00 M

H 0 1 H 35/00 N

H 0 1 H 35/00 C

G 0 1 V 9/04 Q

H 0 3 K 17/78 S

H 0 3 K 17/78 N

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月16日(2011.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光を投受光することにより、予め設定された二次元的又は三次元的な保護領域内の物体からの光により該保護領域内の物体の存在を検出すると共にユーザが設定可能な安全機能を備えた光電スイッチであって、

少なくとも第 1、第 2 の複数の出力系統を備え、

各出力系統毎に前記安全機能又は前記保護領域をユーザが設定可能であることを特徴とする光電スイッチ。

【請求項 2】

前記複数の出力系統の各出力に検査信号が時分割で異なるタイミングで重畳される、請求項 1 に記載の光電スイッチ。

【請求項 3】

前記光電スイッチが、その検出能力をユーザが設定可能であり、

前記各出力系統毎に前記検出能力をユーザが設定可能である、請求項 1 又は 2 に記載の光電スイッチ。

【請求項 4】

前記安全機能が、前記光電スイッチの安全出力が OFF 状態から ON 状態に変化するのを阻止するインターロック機能である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の光電スイッチ。

【請求項 5】

前記安全機能が、前記多光軸光電スイッチ又は光走査型光電スイッチの光軸の全部又は一

部の光軸を一時的に無効化するミュート機能である、請求項 4 に記載の光電スイッチ。

【請求項 6】

各出力系統毎に、不許可を示す安全信号に固定するか否かをユーザが設定可能である、請求項 5 に記載の光電スイッチ。

【請求項 7】

前記複数の出力系統の各出力に検査信号が時分割で異なるタイミングで重畳され且つ一方の出力系統の出力状態を他方の出力系統の出力状態にそのまま反映させる設定をユーザが選択可能である、請求項 5 又は 6 のいずれか一項に記載の光電スイッチ。